

## 襖 Fusuma

山笠の隙間に見え隠れするたくさんの襖は、年間で約600枚ほど製作されています。美しく描かれた花模様から城内の気品が漂います。手書きで一枚ずつ丁寧に描かれているため、多くの時間がかけられています。



## 瓔珞 Ornament

形の丸い「菊の瓔珞」と、細長い「玉の瓔珞」があり、揺れるとシャラシャラと音を奏でます。実はステンレス製と紙製があり、低い位置にある瓔珞は、ケガ防止のため紙製を使用しています。間近で見ると違いに気づくかもしれません。

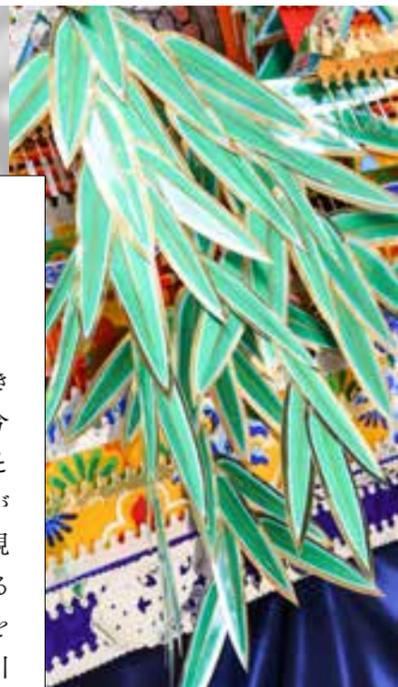


## 波 Wave

山笠の中央を滑らかに流れる紙波や、勢いを感じる両脇の波板。紙波の装飾は難易度が高く、30年以上の熟練の職人が担当。波板は躍動感を演出するため、現在の山笠で多く使用されています。

## 笹 Bamboo

今回の山笠でひときわ目を引く笹は、今まで使用されたことがなく、富田さんが思案して初めて実現したもの。笹が入ることで竹林から姿を現す虎の臨場感を引き立て、全体の印象も優美にしています。



彫刻、絵画、書、建築の要素が詰まった「和」の総合芸術

# 福智の山笠を彩る

# 珠玉の7選

美は細部に宿る。今回の飾り山ではほぼ全てを新調したという装飾品の中から、その「美」を厳選してご紹介。一つひとつに光る職人技、繊細な装飾に見入るうち、どんどん山笠の世界に引き込まれていきます。

## 武者人形 Samurai doll

大小合わせ200体近くある人形のうち、12体の人形が登場しています。それぞれの表情や動作は、生きているかのような魅力を引き立てます。



## 兜 Kabuto

額部分の眉底の色は、昔は黒など暗色でしたが、今はより顔が映えるよう赤色で制作。ガラス玉も雰囲気演出するために、近年取り付けられたものです。富田人形の特徴である目の鋭さが生きています。



## 着物 Kimono

武者人形がまとう豪華絢爛な着物は、山笠の中でも高価な部分。住職の袈裟にも使われる着物の生地で作られ、真新しい今回の人形の着物には、一体につき約7mもの生地が使用されています。

### Pick up

山笠最上部の鷹の上から戦いを見守る一際きれいな女人形。名前は「女神」と呼ばれ、山笠の守り神でもあると伝えられています。



## 据え山道具 Traditional tool

普段の山笠では滅多に見られない、据え山専用道具。山笠を大胆かつ豪華に彩る貴重なパーツです。今回は古くからある据え山を使用。丹塗りの外観にふんだんに飾られた瓔珞が華やかさを演出しています。



## ギザ Giza



その名のとおりにギザギザしている部分で、山笠の至るところに見られます。ダメージを受けやすい装飾ですが、見栄えの美しさにこだわり、一つの歪みも許さない職人魂が詰まっています。

